

本年度の効果検証の結果

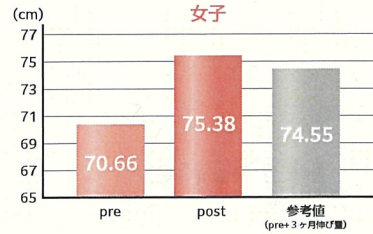
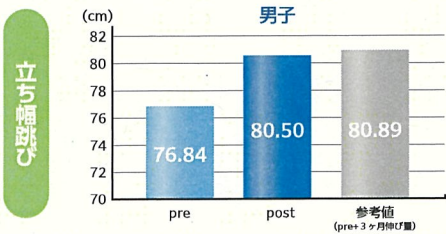
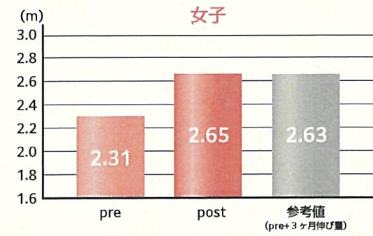
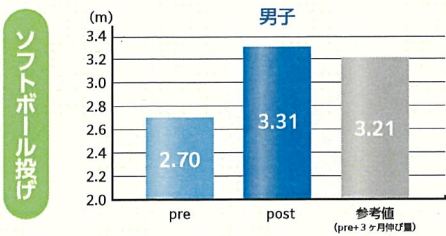
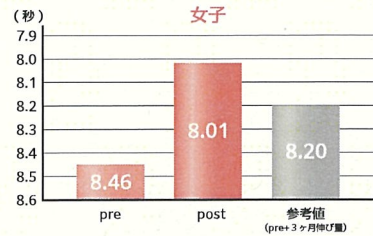
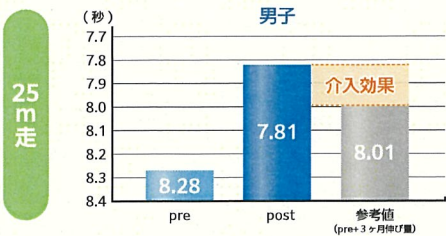


子どもたちの足が速くなった！



下図は、今年度本プロジェクト開始から約3ヶ月間の、3歳児383名の体力テストの変化を検証した結果を示している。プロジェクト開始前(pre-test)と3ヶ月間後(post-test)では、男女ともにいずれの項目も伸びていることが見て取れる。しかし、ここには身体的な発育による自然成長もあるため、幼児期の3ヶ月間の平均的な伸び量をpre-testの測定値に加えて(右端棒)、本プロジェクト推進園のpost-test平均値と比較してみた。

すると、今年度は特に推進園の子どもたちの走能力が劇的に向上したことがわかる。この原因として、本プロジェクト独自で取り組んでいる「足が速くなる魔法のダンス」実施の効果である可能性が高い(25m走計測は全て光電管を使用しているため計測誤差はない)。投能力や跳躍能力も順調に伸びていることから、本プロジェクトの継続的な実践によるさらなる効果が期待できる。



参考値 = pre測定値 + 3ヶ月伸び量

3ヶ月の伸び量 = 年間伸び量(年少post測定値と年中測定値の差) / 4



スポーツ運動好きな幼児育成プログラム展開事業

本事業の概要と 令和4年度の取り組み および成果報告



<本事業推進園>

富岡保育園・伊自良保育園・高富保育園
綾里幼保園・三城幼保園・ゆりかご保育園
大中保育園・白鳥こども園

土岐津小学校附属幼稚園・泉小学校附属幼稚園・西部こども園
久々野保育園・高山南保育園・龍華保育園

※ 本事業は令和4年度スポーツ庁「幼児期からの運動習慣形成プロジェクト」に基づいて岐阜県が実施した。

本事業推進の背景

我が国の子どもたちの体力は、昭和世代に比べ年々低下傾向を示してきた。さらに、近年のスクリーンタイムの増加やコロナ禍の影響を受け、日々の身体活動が大幅に制約され、体力はかなり低下してしまった。幼少期の運動遊びを通じた身体活動は、単に子どもたちの体力増加だけでなく、心の強さや社会性など非認知能力の発達にも寄与することから、失いつつある運動習慣を取り戻す必要がある。

本事業の目的・趣旨

“運動遊び”を通じて、からだを動かすことが好きな子どもや、からだを動かすことが楽しいと感じる子どもを育て、生涯を通じてスポーツ・運動に親しむ基礎・基盤の構築を目指す。
決して、トレーニング的にはしない事が大原則！



▲詳しくはこちらの動画をご覧ください

本事業の概要

岐阜県内5圏域（岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨地区）より実践市を選出し、その実践市からそれぞれ2～3園を推進園として認定したうえで、本プロジェクトを実践する。本プロジェクトの対象児は、令和4年度に年少児で、3年間継続して運動遊びを促進させ、その効果を検証していく。

なお、本プロジェクトは岐阜県と（公財）岐阜県スポーツ協会、そして、運動やスポーツ科学を専門とする県内大学教授陣の3者が協力して展開していく。

本事業の主な内容

- 1 推進園の園児を対象に、園における毎日の活動の中にアクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）を活用した運動遊びを積極的に導入する。
- 2 週に数回、リズムダンス（足が速くなる魔法のダンス）を行う。
- 3 保育者に対する実技講習会及び定期的な実技指導と実践評価を行う。
- 4 保護者に対する講演会（YouTube配信含む）及び成果報告などの資料・情報提供を行い、子育てに役立ててもらおう。
- 5 園児の運動能力測定と効果検証を行う。
- 6 公開授業を積極的にを行い、全県下への普及促進を目指す。

本事業の成果と目標

どの子ども自ら進んで運動遊びにいそしみ、仲間とともに活発な生活を送る基盤を育む。その中で、非認知能力の向上を目指し、強い心と高い社会性を養い、さらに基本的な生活習慣の定着に寄与する。

元気に遊び込んだ結果として、3年後の卒園時の基礎的運動能力が小学一年生レベルに到達することを目標とする。

本事業の指導スタッフ（岐阜県内5大学教授陣）

全地区統括指導助言者	春日 晃章 教授	岐阜大学 【子ども発達学、博士（医学）】
岐阜地区（山県市）	内藤 謙 教授 小椋 優作 講師	岐阜聖徳学園大学短期大学部 【運動学、博士（経営情報科学）】 中部学院大学短期大学部 【発育発達学、博士（経営情報科学）】
西濃地区（大垣市）	本田亜紀子 教授 篠田 知之 准教授	朝日大学 【運動生理学、博士（体育学）】 岐阜協立大学 【運動生理学、修士（体育科学）】
中濃地区（郡上市）	有川 一 教授 東海林沙貴 助教	中部学院大学 【生理学、博士（医学）】 中部学院大学 【体育科教育、博士（スポーツ科学）】
東濃地区（土岐市）	小栗 和雄 教授 熊谷慎太郎 講師	岐阜聖徳学園大学 【運動生理学、博士（医学）】 岐阜聖徳学園大学 【バイオメカニクス、修士（体育学）】
飛騨地区（高山市）	春日 晃章 教授 大坪 健太 博士院生	岐阜大学 【子ども発達学、博士（医学）】 岐阜大学 【学校教育学、修士（教育学）】

本年度の活動の様子

体力測定

本プロジェクトの効果を検証していくため、プロジェクト開始前と年度末に立ち幅跳び、ソフトボール投げ、25m走の測定を実施した。



リズムダンスの継続的な実施

オリジナルの「足が速くなる魔法のダンス」を各園で継続的に実施し、園児の活動量と運動強度を確保しながら楽しくアップテンポな音楽に合わせて体を動かす機会を作った。保育者や保育に関わる行政職員、また保護者も一緒に動きを体験した。



アクティブチャイルドプログラム(ACP)の実施

楽しみながら仲間と一緒に運動遊びをする習慣作りのため、国のスポーツ基本計画にも推奨されているACPを実践している。子どもたちの笑顔と歓声が各園で広がっている。



▲詳しくはこちらの動画をご覧ください